

# ハイエース モデリスタ バージョン

## リヤスカート 取付要領書

設定型式: TRH20##, KDH20##, GDH20#V

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、リヤスカートの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

### 取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名ずつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。  
(PACプライマー-K500を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf/cm<sup>2</sup>以上)
- 重要** ■フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

### 取り付け完了後の点検・注意事項

- リヤスカートが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスカート及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。  
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとリヤスカートとの間に隙間が発生するおそれがあります。)

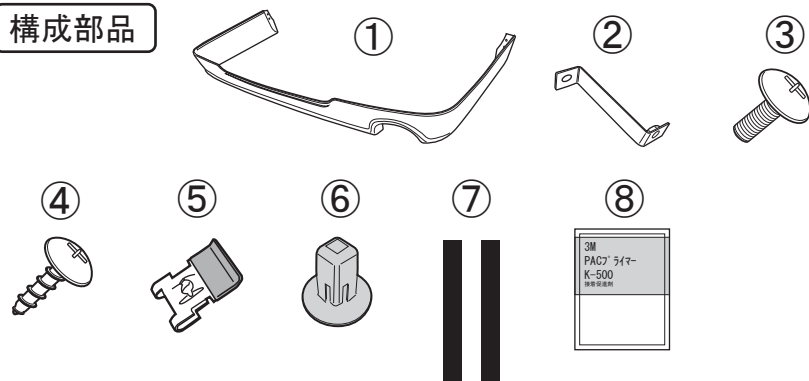


アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

# ハイース モデルスタバージョン

リヤスカート (品番: D2641-21010-XX)  
 (品番: MSD43-26001-XX/26002)

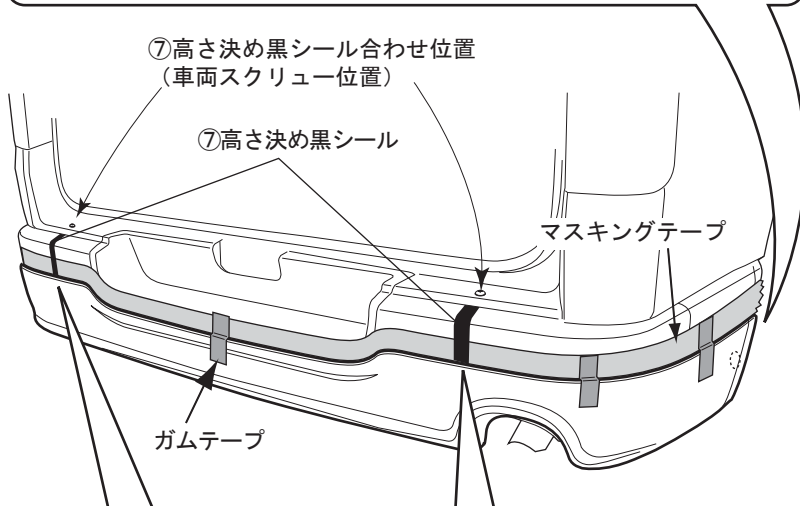
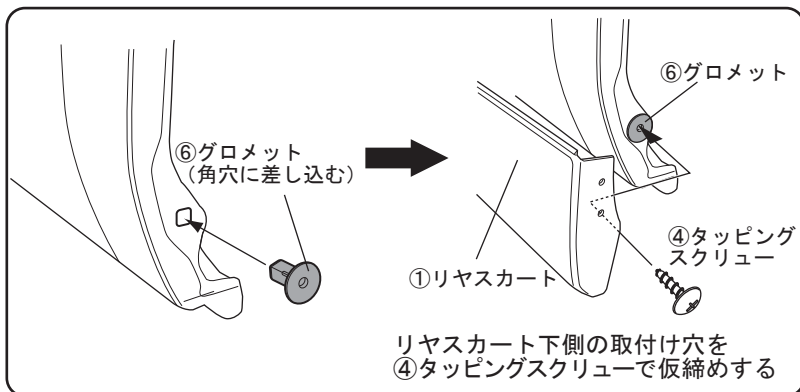
## 構成部品



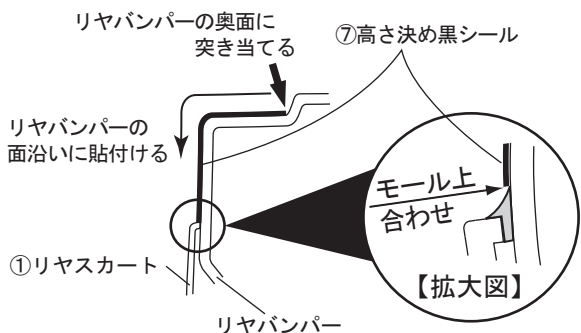
No.	品名	個数
①	リヤスカート	1
②	ブラケット (MJ2)	2
③	トラスボルト (M6×16)	2
④	タッピングスクリュー (M6×16)	4
⑤	Jナット (M6)	2
⑥	グロメット (2147)	2
⑦	高さ決め黒シール (127×20)	2
⑧	PACプライマーK500	1

# 取付手順

## ①仮合わせ



### 【高さ決め黒シール断面図】

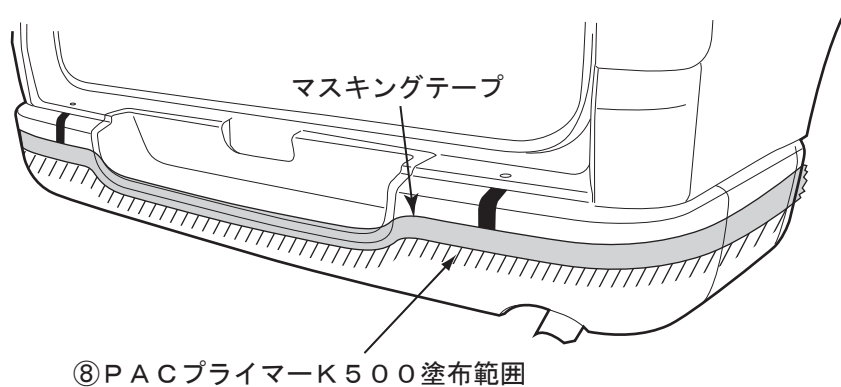


1. パネルホイールアーチ部の角穴に⑥グロメットを差し込む。  
(左図参照)
2. バックドアを開け、リヤバンパー上面のスクリュー位置を⑦高さ決め黒シールの貼付け位置中心とし、リヤバンパー奥面からリヤバンパーに沿って貼り付ける。  
(左図参照)
3. ①リヤスカートをリヤバンパーに左図の要領で被せ、ホイールアーチ下側の取付け穴を④タッピングスクリューで仮締める。また、⑦高さ決め黒シール下側と①リヤスカートのエンドモール上端を合わせ、取付け高さを決め、エンドモール上端に沿ってマスキングテープを貼り付ける。  
(左図参照)

### 👉 アドバイス

取り付け位置を決める際は、リヤスカートが脱落しないようガムテープ等で保持して下さい。

## ②脱脂及びプライマーの塗布

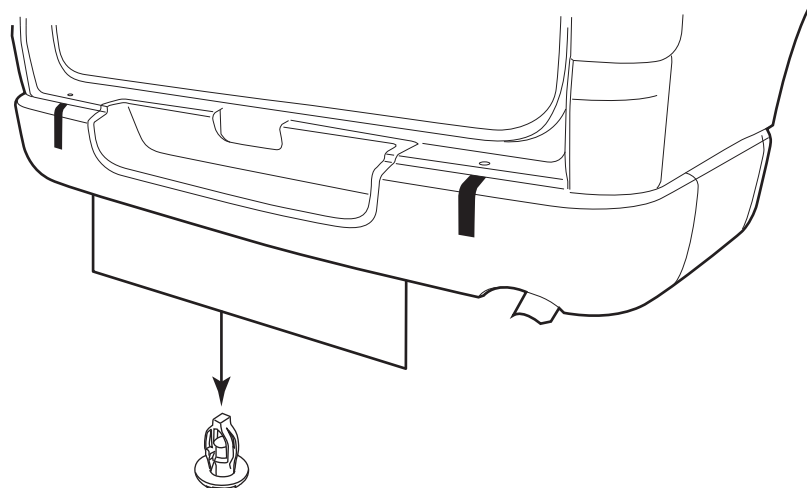


- ①リヤスカートを一旦取り外し、両面テープ貼り付け部（左図斜線部）を脱脂する。
- 両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑧ PACプライマーK500を塗布する。

## 👉 アドバイス

- ⑧PACプライマーK500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で拭き取って下さい。
- ⑧PACプライマーK500塗布後は、常温で**10分間以上**放置し乾燥させて下さい。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

## ③部品の取り外し



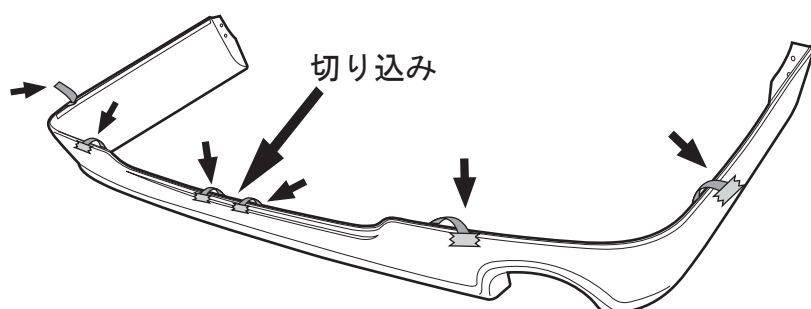
車両クリップ  
(再使用します)

- リヤバンパーを止めている車両クリップを2箇所取り外す。（左図参照）

## 👉 アドバイス

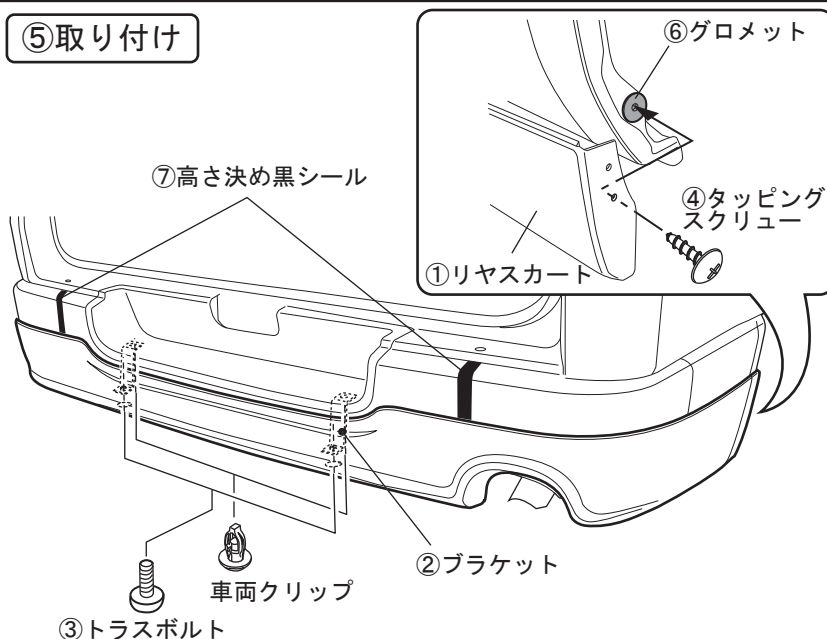
- 取り外した車両クリップは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

## ④取り付け準備



- ①リヤスカート中央裏面の両面テープ離型紙に切り込みを入れ、離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼付ける。

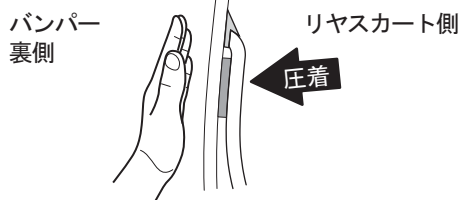
⑤取り付け



1. 車両に②ブラケットを車両クリップで固定する。
2. ①リヤスカートを被せ、②ブラケットを③トラスボルトで下面に仮締めする。
3. ホイールアーチ下側の取付け穴を④タッピングスクリューで仮締めし、ホイールアーチ部の高さを決める。
4. ①リヤスカートのエンドモール上端を⑦高さ決め黒シール下側に合わせ、取付け高さを確実に決める。

③トラスボルト

⚠注意 『挟み込み圧着範囲』



両面テープ部は必ずバンパー裏側に手を入れ、挟み込む様に圧着して下さい。  
※ヤケド、ケガに御注意下さい。

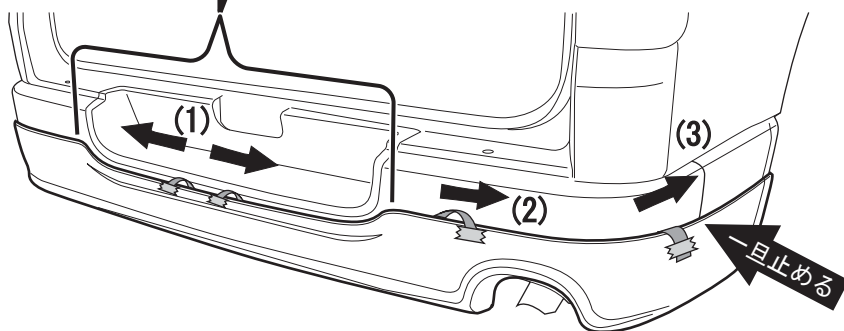
5. 左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認し(1)。(2)の両面テープ離型紙を左図矢印の方向に引き抜き、外側に向けて圧着する。  
※『挟み込み圧着範囲』については裏側に手を入れ、挟み込むように圧着する。(左図参照)

(3)の両面テープ離型紙は必ず車両バンパーとフェンダーとの境目で一旦止め、中央部から再度圧着確認を行った上で、残りの離型紙を引き抜きながら圧着する。

※離型紙を引き抜く際に、スポイラーの取り付け高さが変わらない様に注意して下さい。

👉アドバイス

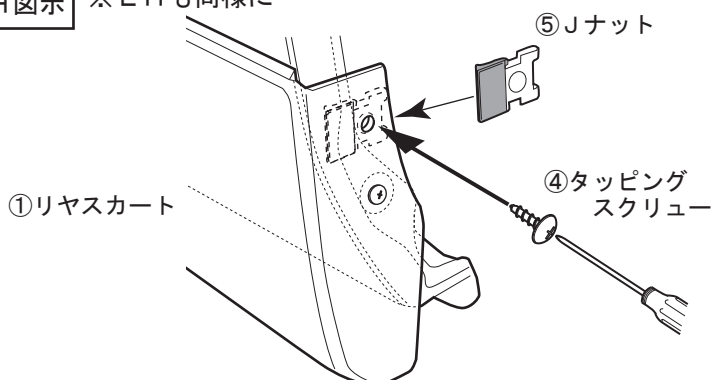
- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。バンパーに付かない様に気を付けて作業をして下さい。
- ・離型紙が途中で切れない様に、スポイラーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf/cm<sup>2</sup>)程度の力で行って下さい。



※離型紙を引き抜く順序  
(左右均等に)

6. 『挟み込み圧着範囲』をもう一度裏側に手を入れ、挟み込むように再圧着する。(左図参照)

RH図示 ※LHも同様に

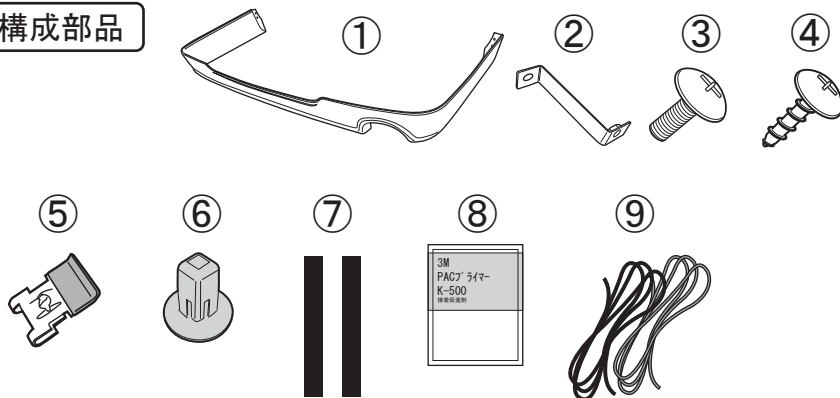


7. ホイールアーチ部上側取付け穴に合わせて車両側に⑤Jナットを差し込み、④タッピングスクリューで2箇所仮締めする。

8. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから上記仮締め箇所を本締めする。

# リヤスカート素地品の塗装手順

## 構成部品



No.	品名	個数
①	リヤスカート	1
②	ブラケット (MJ2)	2
③	トラスボルト (M6×16)	2
④	タッピングスクリュー (M6×16)	4
⑤	Jナット (M6)	2
⑥	グロメット (2147)	2
⑦	高さ決め黒シール (127×20)	2
⑧	PACプライマーK500	1
⑨	エンドモール (S)	グレー:1 黒:1

## 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。



### アドバイス

本製品の素材には難付着性のPP (ポリプロピレン)系<PPE>を使用している為、**必ずPP用プライマー**を塗布して下さい。

4. 上塗り塗装を行なう。  
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥  
注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

## エンドモールの貼り付け作業

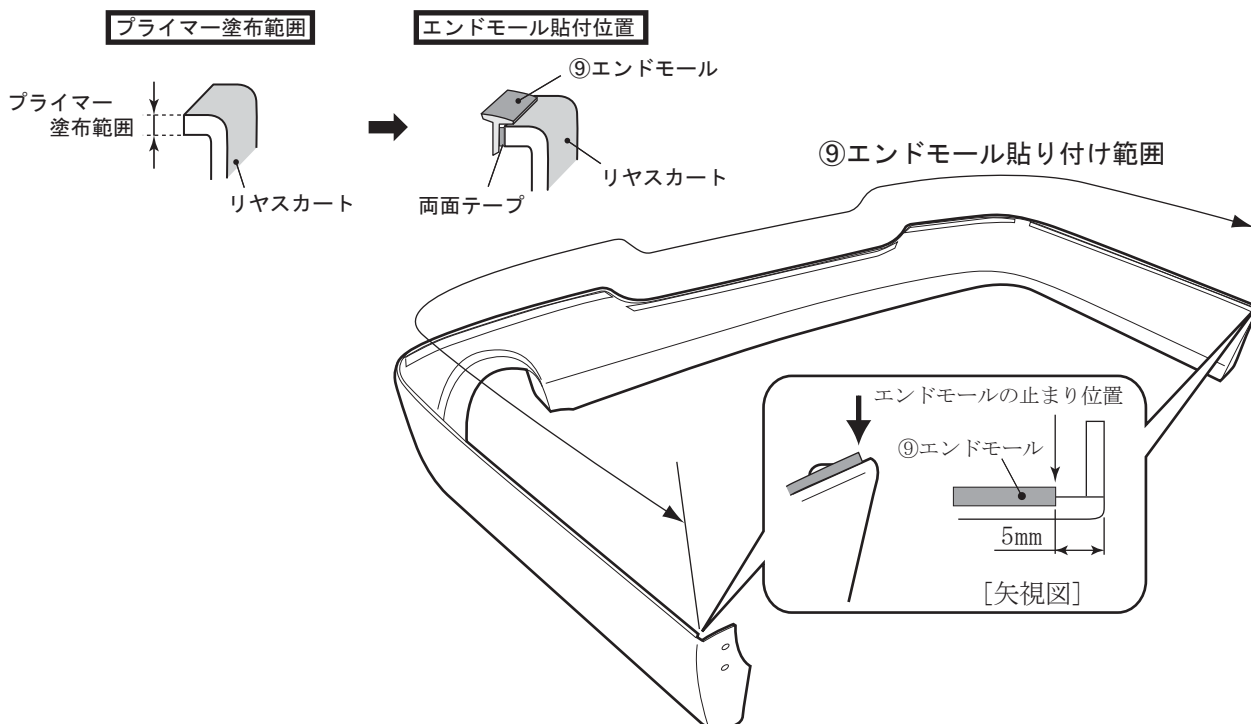
1. 塗装終了後、⑨エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑧PACプライマーK500を塗布する。



### アドバイス

プライマーはスポイラー取り付け時に再使用します。  
揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。

2. 下図の要領で⑨エンドモールを貼り付ける。



# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

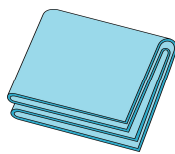


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールの痛めるため  
使用しないこと

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは  
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

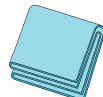
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

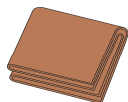


水拭き用バケツ



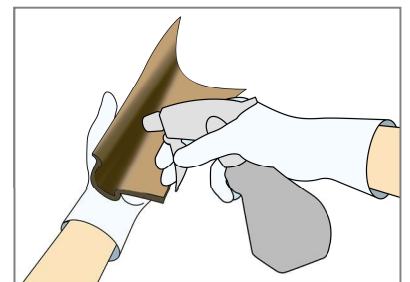
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

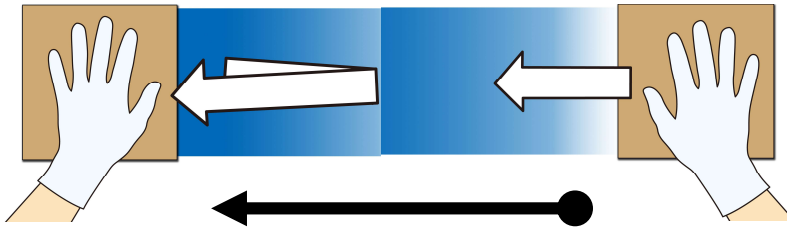
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1ブロック60cm程度として両手にWETとDRYのウエスを交互に持ち  
WET⇒DRYの順に拭き上げて脱脂する。

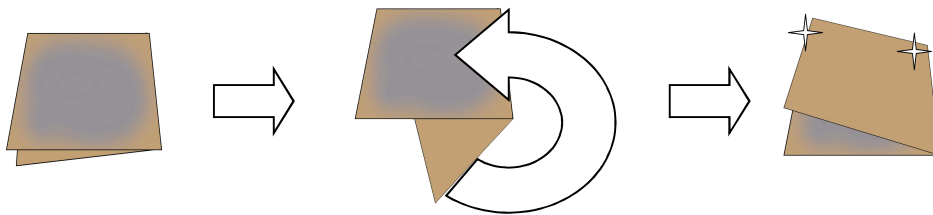
範囲が広い場合は1ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に3~5ブロック毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。